

Case Study

N高等学校

通信制×ネットの個別最適な学びで情熱を生む

高卒資格が取れるネットの高校として2016年に開校したN高校。今や約1万人の生徒を擁し、従来の通信制のイメージを一新した同校がめざすものとは。

アダプティブラーニングに最適なネットの学校

「本質的。未来の学校」「こんな高校に行きたかった」——学校説明会のアンケートでよくいただく回答です。本来、発達速度や興味・関心はそれぞれ違うのに、一斉授業では自分のペースで学べない。個別最適な学びには、ネットを活用した通信制が適している——そう考えたのが、N高の始まりでした。

N高に来る生徒は主に、スポーツやプログラミングなど、やりたいことが明確で、その追究に時間を使いたいという生徒。一方で「こころな、やりたいことを見つけれそうだ」という理由で志望する生徒も少なくありません。通信制とネットを組み合わせると、得られるものが2つあります。1つは「生徒が自分を見つめ直

す時間」です。生徒は映像授業を好きな時間・場所で受講し、通学は年に5日間程度。残りは自分の時間です。将来をじっくり考えるべき高校時代に、N高なら、決まった時間に縛られず、自己に向き合う時間を増やせるのです。もう1つは「教員が生徒に向き合う時間」です。授業はあらかじめ撮影した映像で行い、部活や各事務業務は他のスタッフに任せ、ことで、教員は生徒一人ひとりに合わせたコーチングに専念できます。

ネットの高校だからこそ、生徒をモチベートするにはアナログな声掛けが重要です。担任は、チャットツールやメール、電話で生徒とコミュニケーションを取ります。このペースとなるのが、教員とのやり取りを全て残したログです。これにより各生徒に対して的確なアドバイスを可能になります。

ポートフォリオは自分らしい進路の指針

単位認定授業のほかに、学費内で受講できる選択制課外授業「アドバンスプログラム」を用意しています。プログラミングや音楽、ゲーム制作などが学べます。中学復習講座や大学受験講座も用意しており、全てその分野のプロが担当します。

また、自治体や企業と連携した職業体験プログラムを設けたり、長期インターンシップにも取り組んでいます。やりたいことが明確な生徒はもちろん、明確でない生徒も、多彩な課外授業が自分の夢を見つめるきっかけになるという期待感を持って入学してくれています。実際にイカ釣り漁体験がきっかけとなり、水産系大学をめざして猛烈に勉強を始めた生徒もいます。全ての生徒に個別最適化



副校長

上木原孝伸

かみきはらたかのぶ ● 大手教育企業で講師として17年間教壇に立ち、受験指導に携わる。IT×教育の可能性を感じ、2015年に株式会社ワゴンに入社。開校前からN高等学校のプロジェクトに参画し、2017年から現職。

取材・文/本間学 撮影/荒川潤



▲写真は沖縄県伊計島の本校(スクーリング会場)

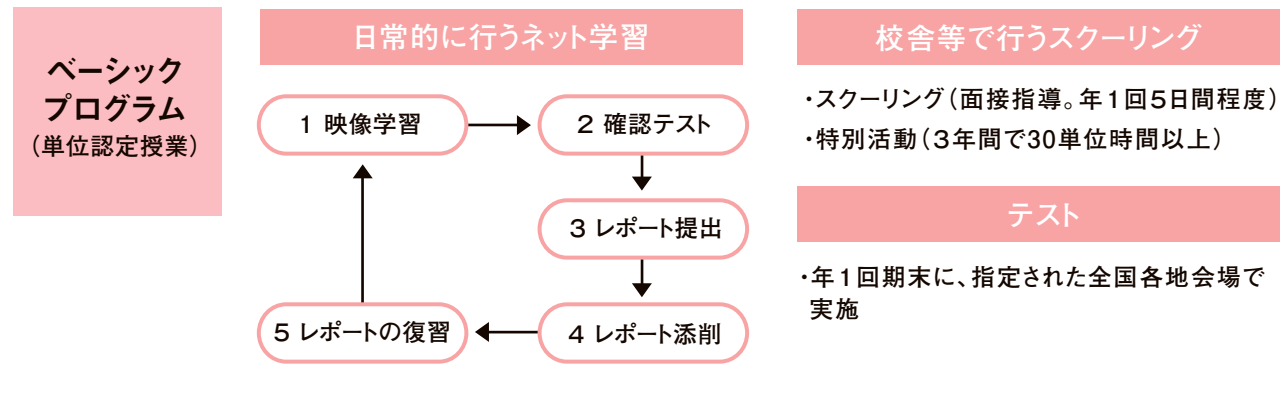
N高等学校

- ▶2016年開校 ▶学校法人角川ドワンゴ学園が運営 ▶単位制・通信制課程・男女共学(普通科)生徒数1万926人
- ▶授業のほか、生徒同士のコミュニケーションやレポート提出、部活も主にネットを使って行う
- ▶高卒単位認定授業(ベーシックプログラム)のほか、豊富な課外選択授業(アドバンスプログラム)を設ける
- ▶大学合格実績：国公立/9人 私立/早稲田、慶應義塾、上智、明治、青山学院、立教、中央、法政、日本、東洋、専修、近畿他 海外大進学者4人(2019年)

学びのプログラム

教育目標

- ▶IT×グローバル社会を生き抜く「創造力」を身に付け、世界で活躍する人材を育成する。
- ▶創造力を身に付けるために、教養、思考力、実践力の3つを学びます。
- 【教養】自分なりの考えをもつための知識 【思考力】知識を使って考える力 【実践力】考えを行動に移す力



アドバンスプログラム (課外選択授業)

プロフェッショナルによる、将来につながる授業

- 大学受験対策授業
- プログラミング授業
- 機械学習授業
- Webデザイン授業
- 文芸小説創作授業
- エンタメ授業
- クリエイティブ授業
- DTM・ボーカロイド授業
- ものがたり創作授業
- 中学復習授業
- 職業体験/スタディツアー
- 国際教育プログラム (スタンフォード大、オックスフォード国際スタディセンター) など、180プログラム以上

◀岐阜県関市での「刀鍛冶職業体験」の様子

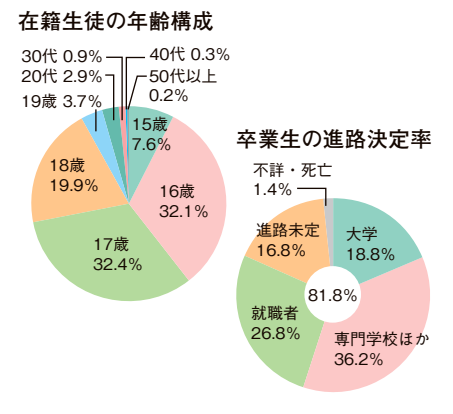
▶スタンフォード大学国際教育プログラムの様子

注目!

右肩上がりの入学者数の背景にある地道な募集活動

開校時に1482人だった生徒数は2年目に4000人を超え、現在は1万人以上が在籍。年齢構成としては15-18歳が92%を占める。一般的な通信制高校は、進学先になじまず転校してくる生徒が多いが、同校に関しては中学からの進学者が3分の2にも上り、第1志望率が90%を超えるという。最近ではIT企業に勤める保護者の勧めによる進学者が増加している。

募集活動はネット広報のほか、地道な活動も大切にしており、学校説明会を毎週、全国各地で実施しているほか、入学者がいる中学校には実際に足を運んで、生徒の様子を報告している。卒業生の進路決定率は8割超と通信制高校の平均(6割)*2からすると高い。今年からは専従スタッフを組織して大学訪問も開始する予定。大学との連携強化も積極的に図っていく意向だ。



*2「平成30年度文部科学省学校基本調査」に基づく

*1 主にテキストメッセージでリアルタイムにコミュニケーションが取れるツール。代表的なものはLINE。N高校ではSlackを使用している。